特許協力条約

PCT

国際調査報告



(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 04P311HMW000	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/010737	国際出願日 (日.月.年) 28.07.2004	優先日 (日.月.年) 18.11.2003				
出願人(氏名又は名称) 本田技研工業株式会社						
国際調査機関が作成したこの国際調査	国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。					
この写しは国際事務局にも送付される。						
この国際調査報告は、全部で3_ページである。						
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。						
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。						
b. 🔲 この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。						
 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。 						
					4. 発明の名称は 区 出願	人が提出したものを承認する。
次に	:示すように国際調査機関が作成した。	2005.3.18 19条補正				
5. 要約は 🗓 出願	負人が提出したものを承認する。	E = 0				
□ 第IV欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ の国際調査機関に意見を提出することができる。						
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 5 図とする。 X 出願人が示したとおりである。						
	出願人は図を示さなかったので、国際調	西査機関が選択した。				
□ 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。						
b. □ 要約とともに公表される図はない。						

	A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))					
	Int.	Cl' F16D3/20 F16D3/2	2 ∙0 5			
r	n 细木+.4	ニュナハ町				
-		テった分野 最小限資料(国際特許分類 (IPC))		······································		
	Int.	Cl' F16D3/20 F16D3/2	2 0 5			
	最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの					
İ	日本国第	に 日 新 案 公 報	· 年			
l	日本国纪	☆開実用新案公報 1971-2004 実用新案登録公報 1996-2004	· 生 · 在			
	日本国実用新案登録公報 1996-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年					
Ì	国際調査で使用	用した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)	-		
ļ						
l	C. 関連する	ると認められる文献				
	引用文献の カテゴリー*	 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	こさけ その関連する筬所の表示			
ŀ						
l	Y	JP 10-184717 A (エヌラ	•	1-18		
l	•	1998.07.14,全文,第1-		10.01		
	Α	24 A & EP 0836023	3 A1 & WO 1997	19-21		
		/029294 A1		,		
١	Y	JP 2001-208090 A (=	エヌティエヌ株式会社)	1–18		
l	1	2001.08.03,段落【004				
l	Α	003/0130045 A1 &		19-21		
	11			10 11		
		L				
ļ	X C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。 		
	* 引用文献(の日の後に公表された文献			
l		車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「T」国際出願日又は優先日後に公表さ			
l	f D I 国際出版	顔日前の出願または特許であるが、国際出願日	出願と矛盾するものではなく、多 の理解のために引用するもの	も明の原理又は理論		
l		限は前の山嶼または特計であるが、 国際山嶼は 公表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、	当該文献のみで発明		
١		主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行	の新規性又は進歩性がないと考え	えられるもの		
		くは他の特別な理由を確立するために引用する	「Y」特に関連のある文献であって、			
		理由を付す) よる開示、使用、展示等に言及する文献	上の文献との、当業者にとって よって進歩性がないと考えられる			
		頭日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	「&」同一パテントファミリー文献			
	国際御木とウ	71 /- P	国際調査報告の発送日 15.11.	19-21 1-18 2 11 19-21 する別紙を参照。 する別紙を参照。 された文献であって はなく、 のの、当該文献のみで発明 のの、当該文献のみで発明 のの、当該文献のののと、 では、 のの、当ないで発明 のの、当ないでののでは、 では、 のの、は、 のの、とは、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、 の		
国際調査を完了した日						
国際調査機関の名称及びあて先 特許庁審査官(権限のある職員) 3 J 9 2 3 7				3 J 9 2 3 7		
	日本国特許庁(ISA/JP) 平瀬 知明					
	郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3328					
١	米尔1	申11/日内段が関ー1日4年3万	Henneld on andritter	1 105 0 0 2 0		

C(続き).	関連すると認められる文献				
引用文献の	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号			
カテゴリー*	JP 5-296255 A (本田技研工業株式会社) 1993.11.09,段落【0017】-【0021】,第4図 (ファミリーなし)	8, 18, 21			
·					